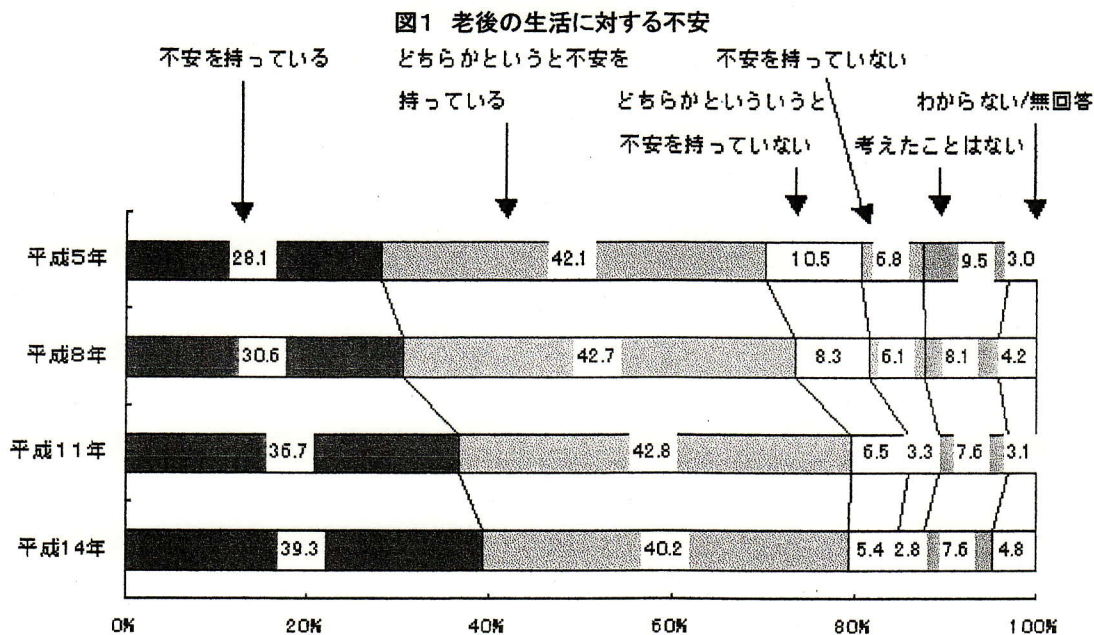


平成15年3月18日
総務省

「平成14年 個人年金に関する市場調査」結果の概要

1 老後生活に対する不安

○ 老後の生活に不安を持っている人が増加



老後の不安の主な理由(複数回答)

- 老後の生活に「不安を持っている」、「どちらかという不安を持っている」人の不安の主な理由は、
- 1) 公的年金や企業年金、退職金などが、(期待どおりに)受け取れるだろうか80.3%
 - 2) 「預貯金などの蓄えが底をついて、足りなくなるのではないかという不安」49.8%
 - 3) 「物価上昇によって収入などが目減りするのではないかという不安」27.0%

2 老後の生活費

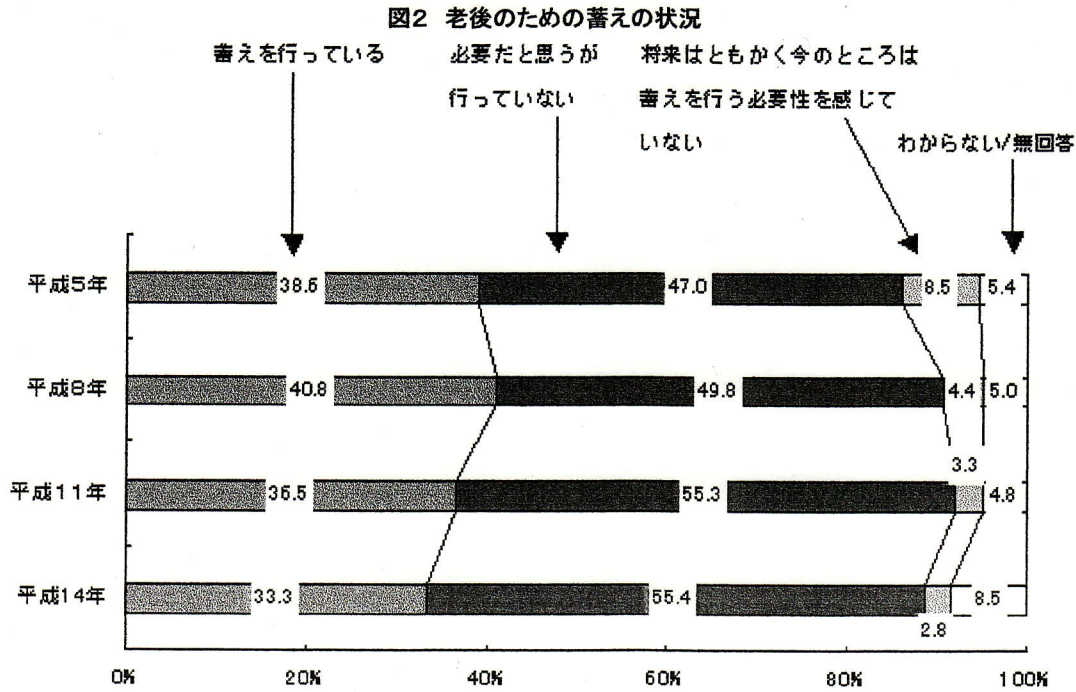
○ 「最低必要と考える生活費」と「豊かな老後に必要と考える生活費」の差が微増

夫婦の老後に最低必要な生活費は平均27.4万円
 豊かな老後に必要な生活費は 平均39.0万円
 その差は 11.6万円 (単位:万円)

調査年	平成5年	平成8年	平成11年	平成14年
最低必要な生活費	25.8	28.3	27.6	27.4
豊かな老後のための生活費	36.6	38.4	37.8	39.0
差(ギャップ)	10.8	10.1	10.2	11.6

3 老後のための蓄えの状況

○ 必要性を感じながら、収入減や住宅・教育費の準備で老後の備えができていない世帯が5割を超える高水準



老後の生活の蓄えをしていない主な理由(複数回数)

- 1) 収入が少なく貯蓄などをするようなゆとりが全くないから 52.3%
- 2) 住宅、教育費などのための備えで、老後のための準備にまてまわらないから 50.6%
- 3) いろいろな目的を含めて貯蓄などを行っているので、老後のための準備とは言いきれないから 12.7%

4 個人年金または年金商品世帯加入率

○ 伸び悩みの傾向を見せていた世帯加入率が減少

